

# 第2回学校評議員会議事録

令和7年3月7日（金）（13:30～15:15 於：応接室）

## 1. 学校長挨拶

- ・教員の不適切な行動による処分等が全国で毎日のように報道されている。
- ・終業式の日、第3学年は修了式を実施。
- ・卒業式の動画（ブルーレイディスクに記録）が終業式までに仕上がる。評議員会の皆さんにお渡しする予定。

## 2. 本年度の報告

### （1）総務部

- ・生徒、教職員の安全・快適な学校生活は実感として成果を感じることができなかった。
- ・防災教育委員会の活動が不十分であった。
- ・入試業務全般は総務部が担当。230名が受験（うち21名は外国籍枠）。昨年から若干減少。

### （2）学習支援部 ※部長出張のため代理教員が出席。

- ・学校設定教科「日本語」の開設（令和7年度4月以降）に力を入れた。これは、日本語指導を充実させるために開設した、日本語能力試験の取得を目指して学習する教科。
- ・教務規定の改定。本校から転出した生徒で退学届を出した際は本校に戻ってこられない制度だったが、編入試験を受けて合格すれば戻ってこられる制度に変更。
- ・海外の生徒がビザ取得のために役所に行く際は欠席扱いだったが、公欠になるしくみに変更。
- ・「総合的な探究の時間」の充実に向けた取組に手を付けられていないのが課題。
- ・観点別評価の算出方法に関する教務研修会を行った。同じ生徒に対して異なる教科の教師が集まり、評価のつけ方について意見交換する機会をもった。今後も定期的にこういった研修会を開いていきたい。

### （3）生活支援部

- ・次回の生徒総会で「全学年、文化祭のTシャツを作成しても良い。」という提案をする予定。
- ・人権教育の充実、通級指導の実施、携帯電話の自己管理、私服制服併用期間の設定、生徒会活動の充実（国際高校との合同スポーツ大会、芦屋マダン、県立芦屋高校・国際高校との3校での交流会を初めて実施）
- ・携帯電話をこっそり触っている生徒がいる。教員の指導だけでは追いつかない。根本的に生徒の意識を変えることが必要。
- ・私服制服併用期間においては、本来の趣旨とは異なる着方をしている生徒もいる。
- ・文化祭の成功に向けて、4月中に生徒会とPTAの協議会を最低でも1回以上持ちたい。

#### (4) 第2学年

- ・4月23～25日に行く修学旅行の準備中。しおりは7割くらい完成。「どうやったら修学旅行を成功させることができるのか。」について考えさせるような文言をしおりに入れる。
- ・教師によって態度を変える生徒がいる。
- ・挨拶をする生徒が少ないので、教師が見本となって挨拶をしていく必要がある。
- ・長欠の生徒へのケアについて、管理職にも相談しながら継続的に実施しているところ。

#### (5) 5年次

- ・遅刻・欠席が少なく基本的な生活習慣を確立しようとしている生徒が多い。
- ・研修旅行の事前学習は4年次の終わり頃から行っていた。少数民族に関する学習や、ニュージーランドの文化や自然、歴史などの調べ学習を行い、発表を行った。研修旅行は1泊は飛行機内、3泊がファームステイ、1泊はホテルの計5泊。事後学習としては、事前学習のときとは異なる班編成で、研修旅行を通して学んだことのプレゼンテーションと、ハカ（男子）、歌（女子）の実演を19期生に対して行った。
- ・自分の目標に向けた学習に取り組ませるために、日本語に課題が残る生徒のサポートなどもしっかりと行っていきたい。

#### (6) 6年次

- ・遅刻・欠席が比較的少ない学年。遅刻者はいつものメンバー。
- ・自由登校になってからも学習に対して意欲的に学校に足を運んで自習をする生徒が多かった。
- ・精神的に幼い生徒も多かったが、進路実現に向けて頑張っていた。
- ・外国籍の生徒が日本の入試制度を完全には理解しきれていないことがあった。現に、前期入試の出願について理解できずに出願を忘れ、それを自覚できていなかった生徒がいた。もっと生徒に対して声掛けをしていく必要があったと反省している（来年度6年次に上がる18期生は気を付けてください）。

#### (7) 入学者選考

- ・志願者数230名に対して、受験者数は212名だった。

#### (8) 職員の自己評価アンケートより

- ・昨年度と比べて高くなった項目：「外部試験の活用」、「定時退勤や業務改善などの効率化」
- ・昨年度と比べて低くなった項目：「アートマイル、海外校との交流」、「いじめや不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる」

(9) 保護者・生徒のアンケートより

・昨年度から大きく変わった項目はなかった。

・「ルールを守らない生徒がいて、きちんとルールを守っているのがバカバカしい」「英語教育に もっと力を入れてほしい」「パソコンの活用を更に増やしてほしい」など保護者から意見が出ており、次年度に対応してかねばならない項目である。

(10) 質疑・応答およびご意見

【評議員】 学校設定科目「日本語」は編入学生に対する科目なのか？

【学校】 そうではない。そもそも編入学生が少ない。今年度は1名（第3学年）だった。

【学校】 現在は、科目「文学国語」で5名の対称生徒に対し、実際は文学国語ではなく、「特別の教育課程」として日本語運用能力テストに合格するための日本語の学習を行っている。

【評議員】 総務部からの報告にあった「実感が得られない」のは、何か課題があってそれが解決できなかったということか。

【学校】 教職員が仕事をする上で、教職員が感じる精神的な抑圧が全くなかったとは言えない。

【学校】 国際高校との共用は非常にストレス。特に音響関係（放送）に気を遣う。

【評議員】 後期課程で化学や物理の実験はしないのか？是非やっていただきたい。

【学校】 実験している教員はいるが、していない教員もいる。教科内でご指摘を共有する。

【評議員】 職員の自己評価にある「PTAとの連携」で「1」を15名もつけているのは何か理由があるのか意見があれば聞かせてほしい。

【学校】 「1」＝「分からない」という意味です。

【評議員】 教室にあるモニターはもう活用していないのか？

【学校】 物理の授業では使うことはある。使用する上での問題は特にない。

【評議員】 体育館にエアコンは入らないのか？

【学校】 体育館は国際高校の管理下。避難所指定もされていないので、今後体育館にエアコンがつくことは恐らくない。

【評議員】 文化祭について、同窓会と生徒会で何か連携できるのであれば言ってください。

---

【評議員】17期生で卒業した生徒が70名と少ないのは何か原因があるのか？

---

【学校】精神面での不調による不登校、海外へ一家転住など様々な理由がある。

---

【評議員】「挨拶をする生徒がやや少ない」とのことだが、挨拶できていたと感じる場面はあった。

---

【学校】評価について、平均だけでなく、観点別でもしっかりと見てほしい。例えば「定時退勤」については、平均は昨年よりも評価は上がってはいるが、「そうではない」と答えている人は14名もいることにも目を向けるべき。それだけ教員の負担は大きいということを皆が理解すべき。

---

【評議員】卒業式で久々に涙した。答辞の生徒は優秀だと感じた。先生方のご指導の賜物だと思う。

---

【評議員】カヌー部の生徒は日頃から大きな声で活発に活動しているが、学校全体では部活動の入部率、参加率が低いのは何故なのか。というのも、芦国の生徒は礼儀が正しく感心しているが、線の細い生徒が多いと感じた。部活動などの課外活動はもっと積極的に行うべきだと考える。

---